

一 般 質 問 通 告 表

平成26年第3回始良市議会定例会（9月9日（火）午前9時開会）

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1. 和田 里志	1. 始良市環境基本計画に基づく、循環型社会の構築と生活環境の保全について	<p>（1）循環型社会の構築について、ごみの減量化・再資源化を基本施策に掲げている。</p> <p>現在、資源物の収集は、自治会の意向をもとに、その他プラの収集回数は月1回（加治木・蒲生地区は2回）と決められている。</p> <p>また、直接市民の方が持っていくことができる資源物集荷所を、始良地区で4か所、加治木・蒲生地区で各1か所設け、その分別を推進している。</p> <p>特に昨年より増設された重富・松原上地区の資源物集荷所は、毎週日曜日の受け入れが可能で、その時間も長く、何らかの事情で自治会の収集日に出せなかった人たちをはじめ、多くの人たちに利用され好評である。</p> <p>そこで、今後の資源物等の分別・収集体制、そのあり方について問う。</p> <p>① 現在の始良地区の収集体制について、モデル地区を選定し、その方法の変更も含め検討するとしたが、具体的内容を示せ。</p> <p>② 分別品目数について、特に衣類の収集についての取組状況とその見通しを示せ。</p> <p>③ 新たな資源物集荷所の新設についてその考え方を示せ。</p> <p>④ ごみの有料化（特に粗大ごみ）についての考え方を示せ。</p> <p>⑤ 既存の資源物集荷所の有効活用と可燃ごみの同時集荷について、その考え方を問う。</p>	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. 地域の防犯灯（街路灯）の設置基準について</p> <p>3. 市有地（住宅用地）の販売促進について</p>	<p>（2）生活環境の保全について、特に水環境の保全を一番の基本施策に掲げ、健康な暮らしを支える快適な環境のまちづくりを進めるとした。</p> <p>本格的な下水道事業が見込めない現状においては、特に個別の生活排水対策が重要と考える。</p> <p>そこで、合併浄化槽の普及促進を図るための補助金について、現状とその考え方を問う。</p> <p>「安全安心なまちづくり」に欠かせない一つに防犯対策があげられるが、地域の防犯灯（街路灯）の設置基準について、その考え方・今後の対応を問う。</p> <p>また、特に通学路以外の防犯灯のあり方とその維持管理について問う。</p> <p>旧始良町の帖佐第一地区土地区画整理事業により、市有地になった住宅地について、その販売状況と今後の販売計画・見通しについて問う。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>
2. 湯川 逸郎	<p>1. 地域担当職員の役割と活動について</p> <p>2. 地域の子育てサポーターによる子育て</p>	<p>市内全域にわたるコミュニティ組織において、人口減少や高齢化等の進行が著しい地域や都市化する人口増加の地域等の維持・強化を図るために地域担当職員の活動や役割が重要視されるものと思う。コミュニティ組織体において、地域担当職員の役割と活動についてこれまでの経緯と効果を具体的に問う。</p> <p>地域力を維持するために、子育て環境の改善は少子高齢化が進む中で欠く</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>てサロンの育成について</p> <p>3. 地域おこし協力隊との連携について</p> <p>4. 国が取り組んでいる「地方創生事業」の活用について</p>	<p>ことのできない課題である。</p> <p>子育ての悩みを聴いたり、保護者同士の情報交換、また、保護者にとってほっとする空間が地域コミュニティ支援事業の中において必要である。また、子どもの多い地域については自治会単位でのサポーターによる子育てサロンの育成に取り組む考えはないか問う。</p> <p>人口減少や高齢化等の進行が著しい社会状況の中で、地域力の維持強化を図るために、人材の育成が重要な課題となっていると考える。</p> <p>そのために、地域おこし協力隊と連携しながら、過疎地域活性化対策の一環として自然を生かした、人が集まる環境づくりが必要だと思うが、市長の見解を問う。</p> <p>人口減少の克服や地域経済活性化に取り組む「地方創生事業」として、「短期的な政策だけでなく、中長期的にも人口減少にしっかり歯止めをかける政策を進めていかなくてはいけない」と国は示している。</p> <p>今後本市において地域活性化事業の推進をどのように考えているか問う。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>
3. 田口 幸一	1. 私道を始良市道に移管するには	<p>(1) どのような手続きが必要か。</p> <p>(2) 始良市に私道が何箇所あるのか。</p> <p>(3) 開発時に市当局は種々指導しないのか。</p> <p>(4) 移管するには、費用がいくらかかるのか。</p> <p>(5) 公衆用道路になっているが、修理はどうなっているか。</p>	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. 側溝ふたの設置は</p> <p>3. 始良市立北山診療所の今後の運営は</p> <p>4. いじめ防止基本方針について</p>	<p>市民の方々の要望が多いが、設置基準はどのようになっているのか。</p> <p>(1) 医師の確保はどのようになっているのか。</p> <p>(2) 専任看護師の体制はどのようになるのか。</p> <p>(3) 医師、看護師の人件費・委託料はどのようになっているのか。</p> <p>(4) 外来者は、何人くらいか。</p> <p>(5) 地方交付税は、いくら入ってくるのか。</p> <p>(1) 始良市におけるいじめの実態はどのようになっているか。</p> <p>(2) 防止体制はどのようになっているのか。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>教育委員長</p>
4. 本村 良治	1. 川内原発再稼働について	<p>原子力規制委員会は川内原発に安全対策が新基準に適合しているとして事実上の合格を表明した。</p> <p>しかし、その場で同時に田中委員長は「基準は審査しました。安全だとは申し上げません。」と話している。</p> <p>(1) 田中委員長の言葉をどう受け止めるか。</p> <p>(2) 6月議会で同原発の再稼働に反対する旨の陳情が圧倒的多数で採択された。この事実をどう受け止めるか。</p> <p>(3) 風向きに応じた避難経路は何通りくらい設定しているか。具体的に説明せよ。</p> <p>(4) 避難道路の点検・整備はどのように行うか。</p> <p>(5) 避難民の受け入れと同時に起こる想定外の渋滞への対応はどのようにするか。</p>	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	2. 教職員の多忙化解消について	<p>学校現場の多忙が話題になって時間が相当経過した。多忙化の解消についていろいろな取組みが行われていると思うがその成果について問う。</p> <p>(1) 学校の勤務実態をどのようにとらえているか。</p> <p>(2) 多忙化の原因についてどのように考えているか。</p> <p>(3) 多忙解消の取組みを具体的に説明せよ。</p> <p>(4) 市内における過去3年間の病気休職者数の推移を明らかにせよ。</p> <p>(5) 校内労働安全委員会の機能と病気休職者との関係を説明せよ。</p>	教育委員長
	3. 子育て支援について	<p>子育てに社会全体で取り組むために子ども・子育て支援制度が従来の制度から大きく様変わりしようとしている。</p> <p>(1) 来年4月から子育て支援制度が大きく変わる。</p> <p>どこがどのように変わるのか特徴的な項目・制度を挙げて説明せよ。</p> <p>(2) (1)について、始良市はどのように対応するか。それぞれについて説明せよ。</p> <p>(3) 新しい制度へ移行するための準備の進捗状況について説明せよ。</p> <p>(4) 事業計画の作成はどうなっているか。</p>	市長
	4. 通学路の安全確保について	<p>重富中の弓道場前の側溝整備について以前から要請し続けているが、現在までほとんど手つかずの状態である。このことについてその理由と今後の方向性について問う。</p> <p>(1) 学校側から側溝整備について要請があったか。</p>	市長 教育委員長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>(2) その後、どのように検討をしたか。</p> <p>(3) 事業計画はできているか。</p> <p>(4) 秋から初冬にかけては日没も早いので、保護者にとって下校時間帯はとても不安である。生徒の安全は確保できるか。</p> <p>(5) 今年の市長の施政方針の中に安全安心なまちづくりという項目がある。そのこととの整合性はどうか。</p>	
5. 森 弘道	1. 大雨による土砂災害の恐れのある危険区域の防災対策について	<p>先月の8月19日から20日にかけて広島市を中心とした局地的な豪雨により多くの人命が犠牲となりました。心から哀悼の意を表したい。報道によれば当地域は平成11年にも土石流が発生し、多くの人命が失われたとのこと、その時の教訓が生かされず今回の大災害を招いたものと思われる。</p> <p>災害を完全に防ぐことはできないが減災対策として最大限の対策は必要である。</p> <p>(1) 市内に急傾斜指定区域の指定箇所、または土石流危険溪流箇所はそれぞれ何箇所あるか。</p> <p>(2) 最近は記録的な降雨でゲリラ豪雨と呼ばれ時間降雨が100ミリ近くあるいは100ミリを超えることが常時起きている。このような時(1)に指定された区域の施設面の防災対策は適切になされているか。また、住民の避難対策も平常時における周知徹底が必要である。関係機関との連携が取れているか。</p> <p>(3) (1)の施設整備については補助事業があるか。補助率はいくらか。補助のない区域は一般財源ですることになるが、いつ発生するか予測出来ない防災対策(整備)はどのような判断で</p>	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. 市立北山診療所の医師の確保と介護を含む総合福祉センターとしての構想は考えないか</p>	<p>実施されるか。また、深水自治会の堂園谷はどのようになるのか問う。</p> <p>(4) 開発等による最大時間降雨は現在何ミリで計算されているか。また、市の開発許可を得て造成され、開発後に排水等の問題が発生した場合はどこが責任をもって対処することになるか。</p> <p>北山地域における一番の安全安心なよりどころである診療所の医師が辞任したことにより、地域の人たちに大きな不安を与えている。医師不足の中、早急な医師の確保は困難と思われる。</p> <p>(1) 現在業務委託による医師派遣での診療が行われているが今後の見通しについて問う。</p> <p>(2) 当地域は高齢化率が60%を超えており中山間地域としての医療と介護を含む総合福祉センターとしての将来構想は考えないか問う。(旧幸風園跡地の活用も視野に入れて)</p>	<p>市長</p>
	<p>3. 本市の小中学生の不登校問題について</p>	<p>現在不登校問題が全国的に起きているが、将来を担う若者として、児童生徒の健全な育成に努めていかなければならない。子ども子育て基本条例も制定されたことから社会全体で良い方向へ導いていく必要がある。それには情報を共有し、お互い連携し、協力しあって正しい方向へ導いていかなければならない。</p> <p>(1) 本市の小学校、中学校における不登校の実態について小学生、中学生で何人いるか。増加傾向にあるのか。多かった年度と少なかった年度は。</p> <p>(2) 不登校の原因についてどのよう</p>	<p>教育委員長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>に分析しているか。具体的に問う。</p> <p>(3) 子どもに対する指導、手立てはどのようななされているか。</p> <p>(4) 保護者に対してはどのようななされているか。</p> <p>(5) 地域や社会ではどのように対応、接していけばよいのか。</p>	